

令和2年度 事業計画書（案）

南三陸町概況

東日本大震災から10年目となる令和2年度は、人類を脅かす感染症のパンデミック（世界的大流行）の最中、波乱のスタートとなってしまった。本年度は、南三陸町の震災復興計画の最終年度になり、復興事業の完遂に向けて全力で取り組むとともに、町民の安全・安心を支える各種基盤整備の着実な復旧と、震災の記憶を後世に伝承する拠点として、震災復興祈念公園や（仮称）震災伝承館の整備を進め、「復興の総仕上げ」の年となる。併せて、コミュニティの再構築や生業の再生、その発展に向けた基盤を確立するとともに、次世代へつなげていくためのまちづくりを目指す、次のステージになっていく。

当法人のあり方及び事業方針

南三陸町では長い歴史のなか、これまでも幾たびもの自然災害を乗り越えて、人々の営みが維持されてきました。そのなかでも大きな東日本大震災を経験し、私たちは「人と人のつながり」「自然と人のつながり」「世代から世代へのつながり」の大切さを気付かされた。その経験を生かし、次代を担う若者へ伝え、自分にとって大切な価値観を得るきっかけとなり、「未来を創る人」を育てていくとともに、日本一の研修フィールドを目指し、各事業に取り組んでいく方針である。

重点項目

事業方針や定款で規定された「目的および事業」に基づき、令和2年度事業の重点項目を下記のように捉えます。

- 1) いりやどスタッフの意識・スキルの向上に務め、より効率的に宿泊研修施設を運営できるように業務改善を行い、事業運営の安定化を図るとともに、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策をおこなう。
- 2) 東北再生「私大ネット36」スタディツアーや地域創生学部地域実習に加えて、今年度から公共政策学科地域実習を受入する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から中止となった。（より教育効果が得られプログラムの充実と、地域に還元できるような仕掛けを行う予定だったが、残念な結果となった。）
- 3) 志津川湾が「ラムサール条約」湿地指定登録されことなどから、新たな研修プログラムを開発するとともに、バイオガス施見学などの循環型社会への取り組みを学ぶプログラムを更に充実させていく。
- 4) 各種団体を対象としたフルオーダーメイドの研修プランや、スポーツ・アート・サークルを対象とした合宿応援プランなどを売り込み、積極的な集客活動をおこなう。
- 5) 「情報発信等事業」や「里山交流促進事業」などの自治体関連委託事業を受託し、当法人のノウハウを生かした地域貢献事業を展開していく。

第二号議案関連

一般社団法人南三陸研修センター
令和2年度第1回理事会・定時社員総会
令和2年6月29日

- 6) グループ会社である南三陸農工房が担ってきた体験農園の一部を引き継ぎ、自社運営事業として宿泊客等への食材を提供する農作物の生産及び体験学習、農業実習の受入をおこなう体制整備に努める。
- 7) 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から宿泊利用者が大幅に減少し、緊急事態となっている。その補てん対策として、雇用調整助成金や持続化給付金、協力金などを活用するとともに、Withコロナ、afterコロナにもマッチングする事業を摸索しながら可能な取り組みをおこなう。

令和2年度事業分類および事業内容

事業分類を (1) 施設管理事業 (2) 研修及び誘致促進事業 (3) 地域振興事業 (4) 情報発信事業 (5) 大正大学連携事業 の5分野とし、事業毎に効率的かつ円滑に推進していく。

No.	一般社団法人南三陸研修センター (=南三陸ラーニングセンター)	
1	施設管理事業及びフロント業務	
1-1		南三陸まなびの里いりやどの運営
		研修に最適な施設運営を引き続き推進してゆく。また、適切な運営を行うための人材育成・業務改善を行う。
1-2		南三陸ならではの食事の提供
		旬の食材を提供しながら、利用者の満足度を高めるとともに、食からリピーターにつなげていく工夫をする。
1-3		利用者が楽しめる快適な施設
		ライブラリー機能の充実や、フリー客を対象とした震災学習プランなど、利用者へのサービス向上・満足度を高めるための工夫をする。リネン室の改善も検討する。
1-4		ネット販売及びフロント業務の充実
		ネット販売を強化推進していくとともに、キャッシュレス化に移行し、利用者の利便を図りながら誘客を図る。
1-5		新型コロナウイルス感染症の防止対策
		感染予防ガイドラインに沿った適切な受入態勢、対応をおこなう。
2	研修及び誘致促進事業	
2-1		研修プログラムの充実と新規開発
		森里海の自然やそこに生きる人々を教材とした学生・企業向けの研修プログラムの充実・開発を行う。

第二号議案関連

一般社団法人南三陸研修センター
令和2年度第1回理事会・定時社員総会
令和2年6月29日

2-2		学生・企業研修の実施
		東北再生「私大ネット36」をはじめとする大学・企業研修を企画・実施する。安全かつ教育効果の高い研修が実施できるようなマネジメント・連携・受入態勢を整備する。
2-3		視察プログラムの実施
		(株)アミタ、南三陸町観光協会と連携し、バイオガス施設や循環型社会への取り組みを視察するプログラムを実施する。
2-4		フルオーダー研修プランの提案
		チームビルディングや課題解決型研修、防災・減災研修など、各種団体の意向に沿った研修プランを提供し、プログラムを実施する。
2-5		合宿応援プランの実施
		スポーツ・アート・サークルを対象とした各種合宿応援プランを推進し、特にオフシーズン（寒冷期間）対策として、積極的な集客に取り組む。
2-6		学生・外国人インターンシップの受入
		大学生や外国人留学生の実践的な学びの場としてインターン生の受け入れを行い、未来を担う若者の実習機会をつくる。
2-7		大学・企業・団体への誘客
		私大ネット加盟校や企業、各種団体への研修プランを提案し、積極的な誘致活動をおこなう。
2-8		まちづくりゲームの充実と新たなゲーム開発
		当法人等が開発したまちづくりゲームの引き合いが出てきていることから更に促進する。また、第2弾のゲームとして、横浜国立大学とともに共同開発に取り組む。
3	地域振興事業	
3-1		地域を学ぶ勉強会の実施
		南三陸町里山交流促進協議会などの地域住民向けの勉強会を行う。住民が地域のことを深く知る機会を創出し、地域の誇りを喚起し、地域振興に反映させていく。
3-2		花見山プロジェクトの実施
		入谷地区にある山を、ボランティア等の力を借りながら花見山として整備する。研修のフィールドとして、また地域の名所として浸透させる。
3-3		地域資源を活用した住民主体のプログラムの企画・実施
		郷土料理の調理体験等、住民が講師となって地域資源にスポットを

第二号議案関連

一般社団法人南三陸研修センター
令和2年度第1回理事会・定時社員総会
令和2年6月29日

			当てるプログラムを企画し、中期的なプログラムとして実施するためのサポートをおこなう。
3-4		地域資源を活かした商品の企画・販売	
			地域資源を有効活用した商品を開発し、販売を行う。
3-5		アーティストインレジデンス等の実施（県助成金活用）	
			劇団による震災朗読劇を実施するなど、南三陸をフィールドに地域振興につながるアートプロジェクトのサポートを行う。
3-6		体験農園・実験農場の運営	
			宿泊客等への食材を提供するための農作物を生産するとともに、農工房が担ってきた恩送りファームの一部を引き継いで、体験学習や農業実習の受入態勢をつくる。
4	情報発信事業		
4-1		南三陸町公式ブログ「南三陸なう」等の運営（町受託事業）	
			町公式ブログの運営（編集部機能）を行う。 町公式YouTube配信用動画制作を行う。
5	大正大学連携事業		
5-1		大正大学地域創生学部・公共政策学科の長期滞在型地域実習の受け入れ	
			大正大学地域創生学部及び公共政策学科の地域実習に伴う受入態勢の整備と調整、実習プログラムの企画・内容充実を図るためのサポートをおこなう。特に本年度からは、これまでの地域創生学部に加え、公共政策学科実習生を長期間・多数受け入れることから、地域住民を巻き込みながら当法人の受入態勢を強化するとともに、学生が学び成長するための実習地として構築していく予定だったが、 <u>コロナの影響により、残念ながら今年度は中止となった。</u>
5-2		地域構想研究所講師等によるオンラインセミナーの実施	
			地域や産業の枠組みを超えた専門性の高いセミナーを開催する。
6-3		すがもアンテナショップ「座・ガモール」等への参画	
			すがもアンテナショップ「座・ガモール」の協力団体として、可能な支援をおこなう。